

要 望 書

直轄事業による八代海岸耐震化の推進について



【八代海岸に広がる八代平野】

令和3年11月

熊本県八代市

八代海岸地区国営海岸保全施設整備事業推進協議会

八代市における農業基盤整備につきましては、平素より特段のご配慮を頂き深く感謝申し上げます。

さて、八代平野は、江戸時代からの干拓により造成された低平地であり、現在、水稻をはじめ、本市を代表する農産物であるトマト等の施設園芸や多様な露地野菜が生産されており、県内有数の農業地帯となっております。

しかし、本市の農業振興を図るうえで、極めて重要な役割を担うとともに、背後地の住民を守る農地海岸は、築造後、相当な年月が経過しているばかりでなく、平成28年熊本地震をはじめ、多くの自然災害等の影響を受け、老朽化による損傷や機能低下が顕著となっております。

今後、ひとたび日奈久断層を起因とする大地震が発生すれば、海岸堤防が損傷し、農地や農業用施設、背後地の人家等に甚大な被害を及ぼすと危惧しております。

このような中、令和3年度から直轄海岸保全施設整備事業「八代地区」に着手いただきましたことに対し、深く感謝を申し上げます。

つきましては、この事業の滞りない進捗と予算確保のため、格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年11月24日

八代市長

中村博生

八代海岸地区国営海岸保全施設整備事業推進協議会

会長 八代市長

中村博生